

## 中国のクリスマスと年越し

吉村千陽

新年あけましておめでとうございます。今回で四回目のレポートだ。中国に来てから毎日いろいろなことが起こり、やるべきこともたくさんあるせいか時間の流れをととても速く感じる。特に12月はイベント事がいつもと比べて多く毎日忙しく動いていた為一ヶ月を一瞬のように感じた。

12月24、25日のクリスマスだが、中国では盛大に祝う習慣がないので学校も街中もクリスマスの雰囲気はほとんどない。しかし、全くないわけではなく市内の大きなデパートなどにはクリスマスツリーが飾られていたり、クリスマスセールを売りにしているお店も時々見かけた。25日は寮で留学生たちと日本のすき焼きを一緒に食べたり、プレゼント交換をしたりして過ごした。

12月31日の大晦日はちょうど日曜日で、1月1日も元旦休みということで三連休だった。学校や街中の雰囲気はクリスマス以上になかったが、留学生たちと日本の鍋を食べたり市内に遊びに行ったりと楽しく過ごすことができた。2日から通常通り授業が始まった。

今月の一番大きなイベントで12月28日に山西大学の留学生全員で新年を祝う大きなパーティーがあった。それぞれがその日のために練習してきた歌やダンス、劇、演奏などを披露した。私はダンス部門のストリートダンスの振付師として参加した。たくさんの留学生達が参加してくれてほぼ毎日授業が終わってから夜まで練習した。今回このイベントのおかげでいつもは関われないような留学生たちとも仲を深めることができた。授業と練習の間の時間を使って新しい振り付けを考え、練習から帰ってきたら授業の予習復習、宿題を夜遅くまでかけて終わらせる、こんな生活が約二週間続いた為この時期はとても大変だった。しかし本番が終わると留学生達から「ありがとう」「楽しかった」などの言葉をもらい、とてもうれしかった。

山西大学は勉強だけでなくこういったイベント事にも力を入れているため、留学生同士の交流を深めることができ、勉強以外の楽しみもできてとてもいいと思った。また機会があったら積極的に参加していきたいと思った。



集合写真



ダンス披露中